



Idein Inc.



Tokyo Century

2023年10月17日

報道関係 各位

Idein株式会社

東京センチュリー株式会社

Ideinと東京センチュリーが

エッジAIカメラ「ai cast」のサブスクリプションを提供開始

「コストの壁」であるハードウェア投資を低減し、DX実現を加速

国内シェア2年連続No.1のエッジAIプラットフォーム「Actcast」を運営するIdein株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村 晃一）は、東京センチュリー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：馬場 高一）が運営する法人向けサブスクリプションマーケットプレイス「TC Subsc Marketplace」（以下、当サイト）において、エッジAIカメラ「ai cast（読み：アイ キャスト）」のサブスクリプションの提供を開始しました。

これにより企業は、1台あたり毎月5,000円台からの定額料金で「ai cast」を利用できるため、PoC^{*1}実施時に初期投資などを抑えることができます。なお、利用に際して書面での手続きは不要で、当サイトにて契約、解約、変更手続きが可能です。

* 「ai cast」サブスクリプション（TC Subsc Marketplace 内）

<https://tc-subsc-market.tcplats.com/products/detail/51716c78-68d4-11ee-9f13-5891d1637c46>



Idein Inc.



Tokyo Century

■ 「ai cast」サブスクリプション提供の背景・目的

ai cast ^{*2}は、Ideinが技術協力し、株式会社アイシンが開発するエッジAIカメラです。汎用コンピュータ「Raspberry Pi（通称：ラズパイ）」に加えてAIアクセラレーターチップ「Hailo-8」が搭載されており、Ideinの得意とする高速化技術と相まって、一般的なAIカメラ（ラズパイおよびHailo-8非搭載）と比べて実測性能100倍以上の向上を実現しました。

これにより、顔認証、深度推定、姿勢推定、暗所での分析、属性分析等の大幅な精度向上が見込めます。



Idein Inc.



Tokyo Century



エッジAIカメラ「ai cast」

エッジAIは小売・製造業をはじめ様々な業界のDXに有用な役割を果たしています。しかし、高度なAIを動かすためには、通常、高性能なデバイスが必要になるため高い導入コストがかかります。そこでIdeinは、ラズパイ等の安価なエッジデバイスでのAI（深層学習）の高速化技術を用いて、従来よりも格段に低いコストでのエッジAIの導入・運用を可能にしました。この度、既存製品・サービスのサブスク化を実現する当サイトにおいてai castを提供することで、導入コストをさらに引き下げ、より多くの企業が、簡単な手続きで、エッジAIのPoCを行えるようになります。

※1 Proof of Concept：新たな技術を本格導入する前に効果を検証するプロセス

※2 エッジAIカメラ「ai cast」について（Ideinのプレスリリース）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000056.000026271.html>



ai cast サブスクプランの提供スキーム



■料金プラン

AIカメラの利用目的に合わせて柔軟に対応できるように、契約期間・利用台数に応じた3つのプランを、1台あたり月5,000円台から提供しています（2023年10月時点）。

ai castはIdeinが運営しているエッジAIプラットフォーム「Actcast」に連携済みのため、Actcast上で提供している様々なAI機能をアプリとしてインストールし、ご利用いただくことができます。（ご利用の際は別途、アプリ利用料が発生します）。

また、ai castで取得したデータを可視化するダッシュボードもオプションとして提供しています。

@i cast AIアプリ例

AVAILABLE ON **Actcast**

- 人数カウント**
来客数や来場者数を自動で計測します
- 人物の属性分析**
性別や年代の属性を自動で解析します
- サイネージの視認計測**
サイネージ広告の効果測定ができます

AIカメラ「ai cast」で利用できるAIアプリの例



■エッジAIプラットフォーム「Actcast」について

Actcastは、画像や音声等の解析技術を用いて実世界のデータを収集・活用できるようにする国内シェアNo.1のエッジAIプラットフォームです。

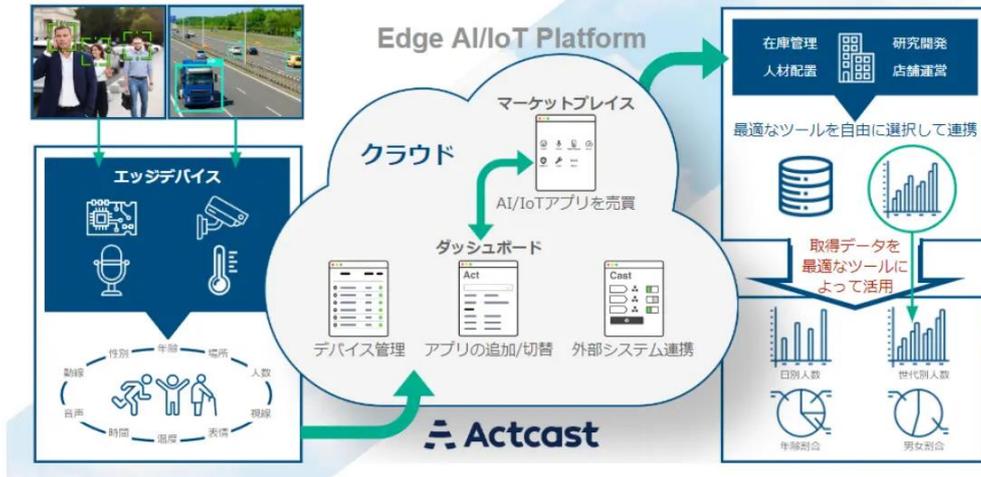


Idein Inc.



Tokyo Century

実世界のビッグデータをAI技術を使って 大規模・リアルタイムに収集・活用するためのプラットフォーム



<「Actcast」の特長>

- ・ 高度なAI解析をクレジットカードサイズの小さく安価なデバイスでできるため、デバイスのコストを劇的に削減できます（通常は数十万円のデバイスを使用するようなAI解析を数千円のデバイスで使用可能）
- ・ Idein独自の高速化技術により、AIモデルを軽量化することなく最先端のAI解析ができます
- ・ カメラ、マイク、温度計等を搭載したセンシングデバイスを使用して、多様な実世界の情報を収集・活用できます
- ・ リモートで複数デバイスの管理・運用ができます
- ・ エッジAIは必要最低限の情報だけをクラウドへ送るため、プライバシー・機密情報に配慮しながら利用できます

Actcastの「国内シェアNo.1」表記について

デロイト トーマツ ミック経済研究所 『エッジAIコンピューティング市場の実態と将来展望 2022年度版』

(<https://mic-r.co.jp/mr/02530/>) 「エッジAIプラットフォームのベンダシェア（台数）」の調査結果に基づく

■ Idein株式会社 概要

安価な汎用デバイス上での深層学習推論の高速化を実現した、世界にも類を見ない高い技術力を有するスタートアップです。当該技術を用いたエッジAIによる現場データ収集プラットフォーム「Actcast」を開発し、実用的なAI/IoTシステムを開発・導入・活用する開発者及び事業会社へのサービス提供を行っております。今後もパートナー企業と共に、AI/IoTシステムの普及に貢献してまいります。「実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるようにする」をミッションに掲げ、日本国内では経済産業省 J-Startup選定をはじめ、日本経済新聞社 NEXTユニコーン企業にも選ばれています。英Arm社のAI Partnerや、米NVIDIA社のInception Program Partnerになるなど、海外でも高く評価いただいています。



【設立日】 2015年4月7日

【代表者】 代表取締役 中村 晃一

【所在地】 東京都千代田区神田神保町1-4-13

【事業内容】 Actcast事業（エッジAIプラットフォームの開発・運営）、受託開発事業（次世代自動車開発での協業等）

コーポレートサイト：<https://www.idein.jp>



Idein Inc.



Tokyo Century

■東京センチュリー株式会社 概要

東京センチュリーは、リースを祖業とし、国内外のパートナー企業との共創による「金融×サービス×事業」を融合したビジネスモデルを展開する業界トップクラスの金融・サービス企業です。

広範な顧客基盤を有する「国内リース事業分野」、法人・個人向けオートリースにレンタカーを擁する「オートモビリティ事業分野」、航空機や不動産を中心に成長を牽引する「スペシャルティ事業分野」、世界30以上の国と地域に拠点網を有する「国際事業分野」、太陽光発電や蓄電池等の再生可能エネルギー関連事業を展開する「環境インフラ事業分野」の5つの分野で事業を展開。幅広い事業領域で社会課題の解決に貢献する独自の金融・サービスを提供しております。



Tokyo Century

【設立日】 1969年7月1日

【代表者】 代表取締役社長 馬場 高一

【所在地】 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル

【事業内容】 国内リース事業、オートモビリティ事業、スペシャルティ事業、国際事業、環境インフラ事業

コーポレートサイト：<https://www.tokyocentury.co.jp>

本件に関するお問い合わせ

Idein株式会社 広報室 高橋（メールアドレス：pr@idein.jp）

東京センチュリー株式会社 広報IR部（電話番号：03-5209-6710）